

神樹の会会報

No. 34
平成6年12月19日

発行所：神樹の会
発行人：水野 整一

本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
六甲作業所、東部デイサービス
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

（事業所）

ともに助けあい生きる喜びを

第23回 福祉バザー

第二十三回神樹の会バザーが去る十月三十一日、十一月一日の両日さんちかホールで盛大に行われた。この収益により、神樹の会の各事業がよりニーズに応えた充実したものへと進めることができ、又、重度障害者施設建設のために一歩ずつ目的に近づくことができる。これも多数の皆さまの絶大なるご支援とご援助のおかげでありますことを感謝申し上げます。

収入の部	
第1日目売上	3,874,558
第2日目売上	2,649,098
会場募金	19,159
寄付金	1,494,106
計	8,036,921

支出の部	
会場設営費	361,500
文書印刷費	77,000
値札及梱包費	131,792
手芸材料費	37,147
通信費	161,747
事務費	33,525
交通費	151,523
雑費	357,451
計	1,311,683

差引収益 6,725,238円



▲ハイ どれにしましょうか・・・バザー風景

理事長感謝状

おめでとーございます

平成六年度神戸市社会福祉大会が九月二日神戸文化ホールにて開催され、神樹の会より推薦された次の方々が永年勤続、奉仕活動金品の寄付の各部門で神戸市社会福祉協議会理事長感謝状を受けられました。（敬称略）

永年勤続の部
藤井 和信（垂水作業所推薦）

奉仕活動の部
中田美智子（垂水作業所推薦）

西原孚左子（明芳デイサービス推薦）

永井万里子（東部デイサービス推薦）

サロンドえびす（垂水養護学校推薦）

金品寄付の部

青木圭一郎 入谷雅章 中田鐵也

長澤多樹子 福田広光 藤崎忠彦

神戸市立須磨高等学校生徒会

日時
平成7年1月22日
PM 1:30~4:30
場所
天神閣
(元町駅南)
☎078-332-2323

第3回ゆうすい希望展

今年のゆうすい希望展は十二月二十日から二十五日まで例年どおりギャラリミウラさんの特別のご好意で開催される。出品者は三十四名、一園、三贊助出品で絵画、書、写真、作詞、あみもの、刺しゅうなど多種類に渡っている。

秋の日帰りバス旅行

去る十一月二十九日に三十四名の会員（養護学校在籍以外）は岡山備前方面に一日旅行に行きました。関谷小学校を見学したあと備前焼きのぼりがまのお話を聞いたり、実際にろくろを使って茶碗を製作されている様子を見てその巧みさに感嘆しました。あと湯郷温泉へ回り、忙しい毎日からちよっぴり解放され、温泉に入りのんびりとゆく晚秋を楽しみました。

第二十三回神樹の会バザーがさんちかホールで盛大に開かれました。会場には市内PTAの方々や企業、一般市民から寄せられた多くの善意の品物が山のように並べられ、延べ一万人の来場者がありました。ふれあい、であい、ささえあいの二日間、会として最も大切な事業です。会員の皆さんには九月より準備にかか

ふれあい、であい、ささえあい

神樹の会会長

水野 整一

り、両校の先生方の協力で搬入、搬出など心一つにして精一杯の活動を頂戴しました。おかげ様で成功裡に終えることができました。これもご寄付いただいた多くの方々の本当に暖かいご協力ご理解があればこそと感謝しております。どうか今後とも神樹の会に対して変わらぬご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



▲湯郷温泉 美春閣にて

陸上記録会に参加して

石上 男

このゆびとへまれ...

ユニバー記念競技場の電光掲示板に養護学校の子供たちの名前が刻まれ、スターターの合図で競技が始まった。喚声の中、こども達は介助を受けながら突き進んでいく。親や兄弟たちが必至に応援するなか、徒歩や車椅子で次々とゴールしていくこども達に観客席から惜しみない拍手が起こる。五米ズリパイ種目に参加した我が息子と見れば、マントの上で落ちて着き払い動こうとしない。広い会場で集中力に欠けるのか、大好きな玩具のりちゃんをゴールに待たせてもうまくいかない。結局、五分三十七秒という千五百米走並のタイムでゴールイン。思わず胸を撫で下ろした。はじめ、神戸市の各小学校から選りすぐりの選手たちと交じって競技することに何ともおもしろい感じを覚えたが、いざ目の前で、こども達の競技を応援するといついはまり込んでしまった。子ども達のありのままの姿を観客の人達に見てもらい、先生と親と子が一体となった日頃の努力を少しでも理解してもらったに違いないと思いつれやかな気持ちで競技場を後にした。（垂水養護学校六年父親）

本会においては障害がある子供をもつて親の年齢層は二十代から七十代まで広範囲にわたっている。二十年・三十年前に卒業した人、平成になってから卒業した人、そして今学校に子供が通っている親、など様々であるが、このたび編集委員会では卒業生の親八人に「在校生のお母さんに伝えたいこと」を、又、学校にいるお母さん八人に「卒業生の親に聞きたいこと」を聞き集約することができた。今号においては「卒業生の親から在校生の親へ伝えたいこと」のみを載せさせていただきます。

訓練は身体が小さい間に

- * 訓練は毎日家でする習慣をつけておかないと、卒業と同時に先生に訓練していただいていた分がなくなり、あつという間に身体が固くなってしまいました。
- * 子どもが小さい間にできるだけ頑張って訓練を。大きくなると動きにくくなるし、扱いに親も大変。学校にいつの間にか関わっていたら卒業したら継続してできる。楽をしたら大変なことは目の前に見えてくるから。
- * 二十四、五才にもなると訓練しても効果がない。現状維持するのがやっとです。
- * 残っている機能を早く見つけてだしてのばしていくことが肝心。

反響から

- * 在校中、先生が自立、自立と親を指導して下さったのに、卒業後はついケガが怖くて一人での外出などもストップをかけたくなるのを反省しています。
- * 挨拶ができるようにした方がよい。
- * 言葉で言えなくてもどんな方法でも、最近では子供が一人の家庭が多いです。できれば兄弟がいる方がよいと思います。十二年間学校に付き添っていたときは離れたらと思ったが、今振り返るといろいろな方から学べる事があり、いろんな勉強ができました。
- * 親子ともに健康が大切。学校にいる

卒業したら

- * 卒業後と在学中とは異なることを考えておいて下さい。障害者だからと甘えることなくしていただきたい。
- * 卒業したら自分の子は自分であるというところは昔も変わりません。学校にいる間は何でも経験させてあげてください。
- * 養護学校に通っている間は親もろのんびりしていますが、卒業後と差があることを自覚しておいて下さい。
- * 可能な限り外に連れだし、外の空気、景色そして一般の人たちに触れさせることを心がけています。



- * 子どもの状態や進路によって違ってくるけれど、卒業後は子どもの介助の時間に関して差が大きいので、身体に気をつけて体力をつけておいて下さい。又、精神面にも自分の楽しみを見つけ子どもと共にがんばれるように何かを見つけておいて下さい。(子どもと共に頑張るためにも、何か一つでも自分の楽しみを持つている人は強い)
- * 自分で外に出ることができない子どもでもすからいろいろな行事や催しには積極的に参加したり、外に出ることを心がけています。
- * 甘やかすすぎたりつい手を出しすぎた。卒業後、作業所で先輩のお母さん方からよいことをいっぱい見習わせて頂いています。
- * 卒業後のことを考えて目標をもっていてほしい。
- * 一つでも子どものできることは多く増やしておくといふと思う。これくらいは親がみれると思っても体力がなくなってきたら先輩のお母さん方の歩んだ道のはよい手本が多くあり、いろいろ尋ねて日頃のコミュニケーションをとる必要もあると思います。
- * 身軽で元気なうちに障害がある子どもの幸せにつながる活動を精いっぱいしてほしい。学校・デイサービスだけでなくもっと広く社会に関わりをもつように。

し報生口

東部デイサービス事業の場所がこの度次ぎのところに移転しました。神戸市東灘区青木五丁目一の一八坂神社内
 八坂神社内
 にお神戸市からお借りしていた魚崎の場所は神戸市により立て替えられて平成七年八月以降に東灘区デイサービスセンターとして法人が運営する予定になっています。
 五年ぶりに名簿が新しく作成されました。
 六甲作業所では二宮しげ子さんが所長代行として任にあたられることになりました。

垂水養護学校



▲手作り作品でお出迎え

「わ」が広がる汐風祭

文化祭を学校祭「汐風祭」と改めて三年目を迎えました。地域の皆様とのふれあいも力強い絆となってまいりました。垂水商店街の出店をはじめ、神樹の会のミニバザー、明芳並びに明友デイサービス、ワークホーム明友、その他の福祉施設バザーの催しも定着してきて、商品を中心待ちにされている方も年々増えてきております。又、会場や喫茶室では卒業生の楽しい会話や、OBと在校生の母親との賑やかなお喋りに花がさいていました。先生方とお会いできた卒業生のうれしそうな笑顔は忘れることができません。いろいろな出会いが生まれ、そして輪が広がった学校祭、来年度の二十周年にむけて一段と飛躍してまいります。

- * 先生とのコミュニケーションを大切に何事もプラス思考でいきたいですね。
- * 学校のことPTAのこと子どもが今していることに関心をもち見守って。

明るく仲よく活動を

- * 毎年一回のバザーのお陰で昔の先生方、なつかしい方々にお会いできてとてもうれしく思っています。学校のお母さん、OBのお母さんみんなで頑張ってください。これからもバザーを続けていきたいです。
- * 本人に合った施設に入って幸せ。世間にお返しにの奉仕をしたい。
- * 年を経た今、この子のお陰で張りりと喜びのある人生を過ごさせてもらっているという感謝の気持ちになった。天使を授かったような今の心情です。

一友生養護学校

継続的学習グループ(あじさいの会)

この冬一番とっておきの
 大胆企画
 十二月十七日、本校講堂で、聖夜をまえに、クリスマスコンサートが開かれた。ゲストに現在関西のロックバンド「ザ・レコーズ」(本校保護者の武長さん所属)の皆さんを迎えて、オリジナル曲を中心に「世界の誰よりきつと」「赤鼻のトナカイ」他を聴きながら、歌ったり踊ったり大騒ぎ。自然と身も心もリラックス。子ども達のことを考えてアレンジをちょつとひかえめのビート。キマッテル。養護学校の子ども達は、コンサート会場に行きたくても、現実には設備の関係などでなかなかこの機会にそれぞれ自分流に楽しんだと思います。



感謝!

平成六年七月より十二月までに次ぎの方々から尊いご寄付を頂きました。
 庄司 幸子様 朝日 多光様
 西山 芳男・律子様 八田 悦子様



お寒くなって参りましたが会員の皆様お元気です。いよいよクリスマスです。二面に取上げましたテーマのご意見を多くの方から頂きましたこと感謝申し上げます。
 皆様のご活躍をお祈りいたします。
 (矢野 西村 小泉 田中 金沢 日高 中野 宮脇)